

事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109104h0003
研究開発課題名 : ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究
研究代表機関名 : 東京女子医科大学
研究開発代表者名 : 針谷正祥

評価委員会のコメント :

○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

国内の関連疾患症例についてデータが集積される。

トリシズマブの治験準備は出来ている。

トリシズマブの医師主導治験への試みとラクトフェリンペプチドの開発。ラクトフェリンペプチドについても POC 取得すべきである。

○疑問点、改善すべき点、その他助言等

欧米と異なる疾患特性を考慮するとグローバル展開の可能性が不透明である。

創薬シーズの候補同定は未達成である。

すでに明らかにされているのかもしれないが、ANCA 関連血管炎治療へのトリシズマブの導入の必然性を示すデータは必要ないのか。

医師主導型治験の開始が遅れている。

以上